

2024年度 保育園・保育士の自己評価

特定非営利活動法人深川市公私連携保育会

「保育所保育指針」において、保育士及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務とされています。当法人ではこれに基づき検討し、保育の質の向上を図るため、保育園及び保育士の自己評価を実施しました。

評価の結果を踏まえ、今後の保育計画・保育内容等の改善に活かし、改善していくことでより良い保育を提供できるよう努力していきます。

新中央保育園の自己評価				
2024年度、保育園及び職員の自己評価について下記の通りご報告いたします。総合評価は最後に記載しています。 ねらい：保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、望ましい保育所運営をするため、今年度の当保育園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育計画(全体的な計画)に生かすため本表を活用します。				
評価の目安：A・・・出来ている B・・・ある程度出来ているが十分ではない C・・・あまり出来ていない又は出来ていない 回答者：園長 北出清美				
自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
1 保育目標について	(1) 子どもの最善の利益を考慮した「保育理念」が明示されているか。	○		
	(2) 保育理念に基づく基本方針・目標が明示されているか。	○		
	(3) 保育方針・保育目標が活かされるような保育内容を考えているか。	○		
	(4) 年齢別目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。	○		
	(5) 目標は前年度の反省を活かしているか。	○		
	(6) 理念や方針、目標が職員、利用者に周知されているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○保育所保育指針に基づき、全体的な計画、年間指導計画、月指導計画、週指導計画及び3歳未満児については個人指導計画を作成している。 ○ホームページ、重要事項説明書、全体的な計画等に保育目標、方針、理念を載せ周知している。 ※主任保育士より (5) 年齢別目標は、毎年度末に各担任が反省、評価をし、それを活かして次年度の目標を設定している。				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
2 保育・行事について	(1) 保育計画(全体的な計画)が保育方針に基づき作成されているか。	○		
	(2) 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき指導計画を改定しているか。	○		
	(3) 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○		
	(4) 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めているか。	○		
	(5) 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができ、見通しを持ちながら進めているか。	○		
	(6) 子どもが自発的に活動できる環境が整備されているか。	○		
	(7) 様々な表現活動が体験できるように配慮されているか。		○	
	(8) 同年齢及び異年齢児間の効果的活動の充実を図っているか。	○		
	(9) 行事のねらいや実施回数などの内容を検討し、改善に努めているか。	○		
	(10) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○	
	(11) 評価結果を基に保育の改善に努めているか。PDCA サイクルを取り入れているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○新型コロナウイルスの他にも感染症が流行したが、運動会については、観覧人数は制限なしで行うことができた。 日常の保育では、異年齢での活動も少しずつ増えた。 年長児は園外に出かけ、他の施設の園児や地域の人たちと交流することができた。 ●保護者の願いや意見を取り入れ、年長児、年中児においては親子行事を実施することができたが、更に検討し改善に努めていきたい。 ※主任保育士より (10)については、毎年以上児クラスで個人面談を行っている時に、保護者から意見や願いを聞く機会があるので、日々の保育に取り入れたり毎月の保育会議で取り上げ、行事内容に取り入れることもあった。 今年度は、親子行事を多く取り入れたので、その際に保護者アンケートなどを実施しても良かったのではないかと反省した。				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
3 健康・安全について	(1) 保育士・調理員が連携し、アレルギー児に対応する環境・体制にあるか。	○		
	(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○		
	(3) 危機管理意識を持ち、緊急時の対応できる体制・マニュアルの作成、保健対策を講じているか。	○		
	(4) 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○		
	(5) 不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○		
	(6) 乳幼児の安全のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。	○		
	(7) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○		
	(8) 遊具・用具等を活用しやすいように整理・保管されているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○アレルギー児に対しては、給食提供を前提とした上で生活管理指導表を活用し、組織的に対応している。 子どもが初めて食べる食品は、家庭で安全に食べられることを確認してから保育園で提供している。 ※主任保育士より (5)不審者訓練は、園児も参加した取り組みを考えている。				

4 食育について	(1) 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせ、食育計画を立て、実践しているか。	○		
	(2) 旬の食材や行事食を取り入れ、様々な食材に触れ、味わえるようにしているか。	○		
	(3) 評価結果を元に食育の改善に努めているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○毎月1回、給食会議を開き評価や結果を話し合い、次の献立や食育計画の参考にしている。 食育については、「楽しく食べること」を意識して、食事を楽しむ雰囲気づくりを大切にしている。 ※主任保育士より 今年度は年中年長児参観日に給食試食会を実施し、特に年長児の試食会では親子でクッキングをした。初めての取り組みだったが保護者の方にも給食の味や、普段園内で取り組んでいるクッキングの様子を観てもらった機会となった。				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
5 つ て 要 保 護 ・ 要 支 援 児 童 に	(1) 虐待が疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに園長に届くようになっているか。	○		
	(2) 虐待が疑われる子どもの保護者への対応について、市関係機関、児童相談所等に通告、照合する体制が整っているか。	○		
	(3) 特別な支援を要する子どもに対して、職員全員で情報を共有し、チームで対応しているか。	○		
	(4) 特別な支援を要する子どもに対して、個別の指導計画を作成しているか。	○		
	(5) 特別な支援を要する子どもに対して、家庭や専門機関と連携を図っているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○深川市要保護児童対策協議会代表者会議や関係者連絡会議などに出席し、職員間で情報を共有している。 ○特別な支援を要する子どもに対して個別の指導計画を作成し、職員全員で情報を共有し家庭や専門機関との連携に努めている。 ※主任保育士より 今年度も以上児で個別面談を行い、その中で保護者から相談があった中で支援が必要と判断した場合は、保護者と専門機関をつなぐための支援を行った。				

6 組 織 ・ 運 営 に つ い て	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。	○		
	(2) 各種会議や打合せの回数、時間、内容は適切かつ効率的か。	○		
	(3) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○		
	(4) 職員間の連携が取れ、報告・連絡・相談等ができ、共同できる体制になっているか。	○		
	(5) 事業計画の策定、評価、見直しは組織的に行われているか。	○		
	(6) 事業計画は職員、保護者に周知されているか。	○		
	(7) 職員の意見を聞いたり、話し合う場を定期的に持っているか。	○		
	(8) 評価や記録を集積しているか。	○		
	(9) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○	
	(10) 苦情解決の体制づくりは出来ているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○今年度も各クラス複数担任とし、リーダーを置いた。 必要に応じて主任保育士と各クラスのリーダー保育士とで会議を実施している。日々の保育や行事について、また、その時の問題点など話し合い、情報を各クラスに伝え、共有している。 ※主任保育士より (7)については、保育会議やリーダー会議等で職員の意見を聞くことはできるが、全体で話し合う場があまり持てないため、日々の保育の中から職員とコミュニケーションを図り、意見を聞いたりしながら組織、運営に役立てるように努めている。				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
7 研究・研修について	(1) 研究・研修は保育目標の具体化につながるものであるか。	○		
	(2) 研究・研修の計画・運営は適切か。	○		
	(3) 研究・研修の成果を日常保育に活かし、乳幼児の育ちに反映できているか。		○	
	(4) 研修の実践による子どもの理解が深まりを見せているか。	○		
	(5) 各種研究会・研修会・講習会等への参加体制ができているか。	○		
	(6) 各種研修会・講習会等での内容を園内に報告・還元しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○キャリアアップ研修をはじめ、研修に参加できるよう職員を配置している。 園内研修も充実し、救命救急講習会に多くの職員が参加できた。 ●研修の成果を日頃の保育に反映し、活かせるよう引き続き努力していく。 ※主任保育士より 保育士キャリアアップ研修については、毎年計画的に取り組んでいる。 (5)については、各地域で行われている各種研修会や講習会を職員が参加しやすい体制を整えていきたい。				

8 情報について	(1) 子どもや保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○		
	(2) 知り得た情報等の守秘義務を果たしているか。	○		
	(3) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	○		
	(4) 各帳簿は、適切な方法で作成・処理しているか。	○		
	(5) 園だより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	○		
	(6) 掲示板、掲示場所を適切かつ効果的に活用しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○流行している病気や毎日の保育の様子、行事の写真などを掲示している。 ○園だより、保健だより、給食献立表、給食だよりは、保護者向けアプリで発信している。 ※主任保育士より (6)園の玄関に行事の連絡事項、日々の保育の中での保護者に対するお願いやお知らせ等を貼りだしているが、うまく伝わりきれていないこともあるため、現在使っている保護者との連絡アプリをもっと有効活用していきたい。				

自己評価の観点・内容		評価		
		A	B	C
9 地域連携・子育て支援について	(1) 地域との関係が適切に保たれているか。	○		
	(2) 保育園が有する機能を地域に還元しているか。	○		
	(3) 地域に住む子ども同士や親子と一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。	○		
	(4) 子どもの興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○		
	(5) 育児に係る「子育て相談」は充実しているか。	○		
	(6) 専門機関との連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。	○		
○評価の根拠、●改善策				
○今年度より月2回園開放を実施し、地域の親子が遊ぶことができる場を設定した。 ※主任保育士より (3)について、今年度から園開放事業に取り組み、地域に住む子ども同士や親子が気軽に園に遊びに来てもらい、園内の様子を見る機会になった。 (2)一時保育の利用者も増え、今後もしできる限り利用しやすい様な体制を作っていきたい。				

総合評価	・新型コロナウイルスの他にも手足口病などが流行したが、日常の生活もコロナ以前に戻りつつあり、新たな行事を取り入れることができた。 ・今年度の収穫祭は年長児の親子行事とし、親子で野菜を切る体験をした。給食試食会も実施でき、その日自分たちで手がけたカレーを親子で食べることができた。 ・3歳以上児のクラスでは、日常的にクッキングを取り入れ、回数を増やした。畑の野菜や自分でさいたきのこなど、苦手なものでも進んで食べる姿が見られた。 年中児は保育参観と給食試食会を行った。 ・年長児の活動としては、JRと路線バスに乗る体験をしたり、地域のお年寄りと交流したり、深小に学校探検に出かけることができた。 今年度のりんご狩り体験も親子行事として実施したが、秋に行事が集中してしまったので、来年度は内容も含めて検討して行く。 ※主任保育士より ・今年度は保護者からの要望もあり、親子行事を多く取り入れた。 ・園開放は今年度から実施した事業だが、同じ施設内の2Fに子育て支援センターがあることから、遊びの場でもあり、園の見学や入園の相談の機会にしている親子の来園が多く見られた。今後も利用者のニーズを把握し、対応していきたい。 ・今年度は以上児を中心にリトミックに取り組み、表現活動や体力づくりを目的とし、楽しく取り組んでいる様子が見られた。今後も引き続き保育に取り入れていきたい。
------	--